

キツネさんとお地蔵さん～三学期始業式講話より～

校長 小林 隆裕

学年の最後にして、最も短い三学期を迎えました。始業式の日の朝、玄関に響く子どもたちの元気なあいさつと明るい表情に、心の底から安堵しました。

始業式の講話は、こんな昔話から始めました。

村はずれのお地蔵さまのところに、ウサギがやってきて言いました。

わたしに速い足をくださってありがとうございます。
おかげさまで毎日元気にくらしています。



お地蔵さまはニコニコして聞いていました。

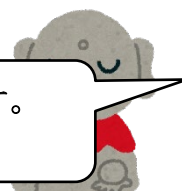
そのあと、少ししてキツネが来て言いました。

わたしに賢い頭をくださってありがとうございました。
でもわたしは、ウサギさんのように速い足もほしいのです。
どうか、速い足もわたしにください。



これを聞いていたお地蔵さまは、こう言いました。

ウサギさんには速い足をあげて、キツネさんには賢い頭をあげたのです。
それなのに速い足もほしいというのは欲張りです。



子どもたちに次のように問いました。

「速い足もわたしにください」と言ったキツネさん、それを「欲張りです」と言ったお地蔵さん、あなたはどちらの意見に賛成ですか。

しばらく子どもたちに考えてもらいましたが、今回は私自身の考えを述べました。

確かに欲張りなのかもしれません。でも、キツネさんの足が速くなって、誰かが困ることはあるかな？・・・ないよね。だったら、賢いキツネさんが「速い足もほしい」って思うのは、悪いことではないですね。

「自分の力が高まるといいなあ」と思うのは、欲張りとは違うんじゃないかと思います。賢い頭と速い足があれば、キツネさんのできることが増えます。できることが増えれば、自分の可能性が広がりますね。

三学期は「学年のまとめをする」学期です。「その学年でできるようにならなくてはならないことを、きちんとできるようにする」ということです。学力だけに限りません。ですが、三学期は本当に短いです。「一月、行っちゃった。二月、逃げちゃった。三月、去っちゃった」と昔の人は言いました。一日 24 時間は世界中の誰にでも平等に与えられた財産です。短い中でも、次の学年に向けて、できることを増やしていきましょう！

「自分の力を高めたい」という気持ちにブレーキをかけることなく、子どもたちには、自信をもって次のステージへ歩いて行ってほしいと願っています。今年も、藤塚小学校の教育活動にご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。